その油断　火から炎へ　災いへ

11月9日～15日　秋の火災予防運動

火災が発生しやすい季節を迎え、11月9日から15日まで、全国一斉に「秋の火災予防運動」が展開されます。

市消防局は期間中、市民の皆さんに防火意識をいっそう高めてもらうため、物品販売店舗・旅館・飲食店などの立入検査や消防教室などを行います。問合せは消防局予防課か各消防署―下表参照―へ。

日常の防火を見直そう

大丈夫？　わが家の防火

万一の火災に備え、住宅用消火器や住宅用火災警報器を設置したり、寝室は避難しやすいところを選ぶとともに、火がついても燃え広がらない防炎製品の寝具や衣類などを使用しましょう。

また、一人一人の注意が、防火や被害の軽減につながります。日ごろから次のことを心がけてください。

◆**放火**　家の周りは明るくし、ごみは決められた日の朝に出す▽ダンボールなど燃えやすい物を置かない▽隣近所と連係し、地域ぐるみで防止を図る

◆**たばこ**　歩行中の喫煙などくわえたばこをしない▽寝たばこをしない、させない▽灰皿には水を入れ、金属性の盆などを敷く▽吸い殻は水に浸してから捨てる

◆**天ぷら油**　台所を離れる時は必ずこんろの火を消す▽こんろの周りや上部に、燃える物を置かない▽廃油処理製品を使う時は必ず説明書を読む▽油が高温になると自動的にガスが止まるこんろを使う

◆**電気配線**　電気製品は定期点検する▽コードを家具などの下敷きにしない、無理に抜き取らない▽たこ足配線はしない

◆**石油ストーブ**　芯（しん）の上げ下げや耐震自動消火装置を点検する▽給油は灯油であることを確かめて、確実に火が消えた状態で行う▽点火後、炎の調整・確認をする▽外出時や就寝時は消す▽カーテンや家具の近くで使用しない▽洗濯物を干さない▽近くにスプレー缶を置かない

火災から命を守る10のポイント

①高齢者や病気の人、幼児だけをおいて外出しない
②方向の異なる避難路を２つ以上決めておく
③寝具などはできるだけ防炎製品を使用する
④寝たばこは絶対しない、させない
⑤寝る前には、必ず火の元を点検する
⑥火災を起こしたり、見つけた時は、大声で周りに知らせ、協力を求める
⑦服装や持ち物にこだわらず、早いタイミングで避難する
⑧煙の中は、できる限り姿勢を低くして避難する
⑨いったん逃げ出したら、再び中に戻らない
⑩逃げ遅れた人がいる時は、すぐ消防隊に知らせる

消防局 消防署 電話番号一覧

西宮市消防局	☎0798・26・0119
西宮消防署	☎0798・23・0119
西宮消防署北夙川分署	☎0798・74・0119
西宮消防署西宮浜出張所	☎0798・22・0119
鳴尾消防署	☎0798・49・0119
瓦木消防署	☎0798・63・0119
瓦木消防署甲東分署	☎0798・54・0119
北消防署	☎0797・61・0119
北消防署山口分署	☎078・904・0119

地域防災の心がけを

毎年、全国で住宅火災により多くの人が亡くなっています。特に高齢者は、運動能力の低下などにより、火煙から逃げ遅れる可能性が高くなっています。

家族や高齢者自身が火の扱いに注意することはもちろんですが、ご近所同士が普段から声をかけ合うなど、地域ぐるみで、高齢者などの避難に支障がある人に配慮した地域防災を心がけましょう。

▒防災用資機材の寄贈について　全国自治宝くじ普及広報事業の一環として、9月28日に自治総合センターから春風自主防災会へ防災用資機材が寄贈されました。同防災会では、放水訓練を実施し、防災意識の高揚を図りました。

家族そろって防災学習へ

北消防署、鳴尾消防署は、家族で楽しみながら防火・防災について学べる催しを開催します。入場無料。問合せは各消防署へ。

□北消防署開放デー

11月9日の午前10時から午後1時まで同署（**0797・61・0119**）で。

★はしご車搭乗体験…小学生対象。当日先着30人
★レスキュー体験、防火映画、スタンプラリーなど

□鳴尾消防署オープンデー

11月16日の午前10時から午後3時まで同署（**0798・49・0119**）で。

★はしご車搭乗体験…小学生対象。当日先着40人
★消火体験、救助訓練見学、ストラックアウトなど

火災発生時にとるべき行動

初期消火の方法

家庭に消火器を備えていても、取扱いや消火方法を誤ると火災が拡大します。粉末消火器の場合は、消火薬剤を炎の根元を掃くように放出してください。消火器で消せるのは天井に燃え広がる前までです。

火事の時は、大声で周りに知らせ、避難路と安全を確保しましょう。そして、家族や隣近所と協力して、できるだけ早く119番へ通報してください。

通報は慌てず119番へ

11月9日は緊急電話「119番の日」―火事や救急などの緊急通報は119番へ。市消防局指令課につながります。慌てず、正確な通報をお願いします。

《通報のポイント》
①「火事（救急）です」
②住所・近くの目標物
③何がどのように燃えているか、逃げ遅れの有無（患者の人数・年齢・性別・けがの状態など）
④あなた（通報者）の名前・電話番号

煙が危険！

火災の煙は多量の有毒ガスを含んでいるため、吸い込むと意識を失い、逃げ遅れる原因になります。また、天井付近から充満しはじめ、想像以上の速さで室内に広がります。

煙の中を逃げる時は、ぬらしたハンカチなどで鼻と口を覆い、姿勢を低くして避難しましょう。

住宅防災診断

消防局は、住宅の安全性の向上を図るため、住宅防災診断を実施しています。

「住宅防災診断」は、火災編・地震編・日常事故編の3編からなり、わが家、わが身を災害から守るための目安となる診断を行っています。住宅内外での危険性を知ってもらい、どのように対処すればいいかを問いかけるものです。

消防職員が訪問し、各家庭の災害への対応状況などをうかがって、住まいに適した対策を説明します。ご協力をお願いします。

消防教室

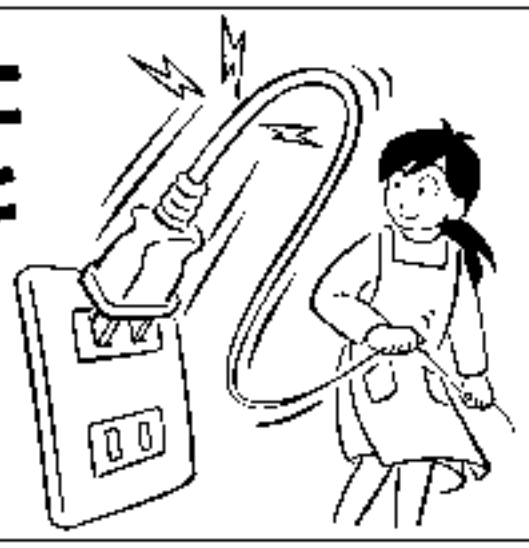
自治会や事業所、共同住宅などを対象に「消防教室」を希望により開いています。火災の予防や火災発生時の初期消火・通報・避難の方法について学びます。消火器の取扱いや煙の中からの避難も体験できます。申込・問合せは最寄りの消防署へ。

消防テレホンサービス　0798・22・9999　ツーツー シキュウ

11月１日～15日…火災から人命を守ろう、16日～29日…石油ストーブの取扱いについて。平日の午前８時～午後５時（土曜は午前11時）▷病院情報…平日の午後５時（土曜は午前11時）～翌朝８時と日曜・祝日の24時間

★消防統計（平成15年９月中）　火災15件（累計75件）
▷救急1334件（１万2153件）
▷救助24件（186件）

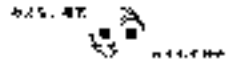
プラグを抜くときにコードを引っ張ると危険です



コードやプラグが傷むと、火災や感電の原因になる事があります。
コードをコンセントから抜く時は、必ずプラグを持って抜きましょう。

電気は安全に使いましょう。

主な業務
・一般のご家庭や商店を定期的におうかがいする電気安全診断
・ビル・工場・事務所などの電気設備の保安管理と点検
・電気についての総合コンサルティング
・電気の使い方と安全についての広報



特別法人 関西電気保安協会
http://www.ksdh.or.jp
神戸支部　神戸市灘区神ノ木通2丁目4-8
TEL (078)882-3471(代表)